

ソーラーガードマンメッセージボード

CMF-(IV)型用文字編集・書き込み方法

CMF-230(IV)型 2台連結用データ作成説明付き



1.準備（必要な物）

- (Ⅳ)型用編集ソフトv2.81～
- パソコン
(Windows10・8・7・2000・XP USBポート付き)
- USBメモリ

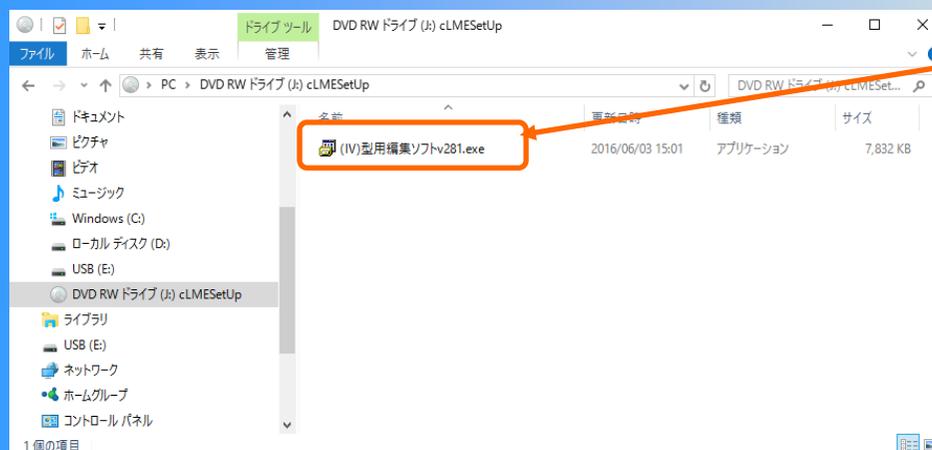


USBメモリ

※ 編集ソフトは無償支給となります。必要な際は、弊社にお申し付け下さい。

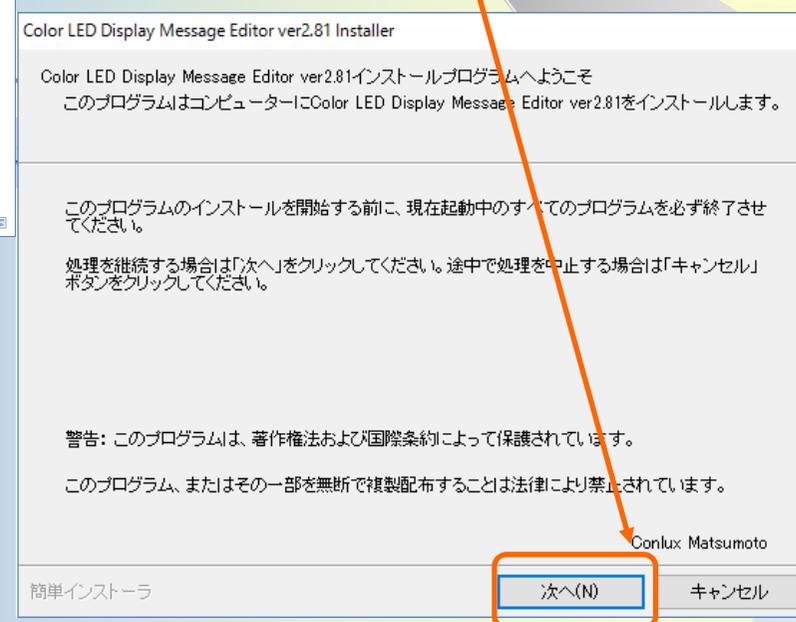
2. ソフトのインストール 【その1】

- インストール用のCD-ROMをパソコンにセットします。
- CD-ROMの内容を開くと、「(IV)型用編集ソフトv281.exe」というファイルがあります。そのアイコンをクリックするとインストールプログラムに入ります。

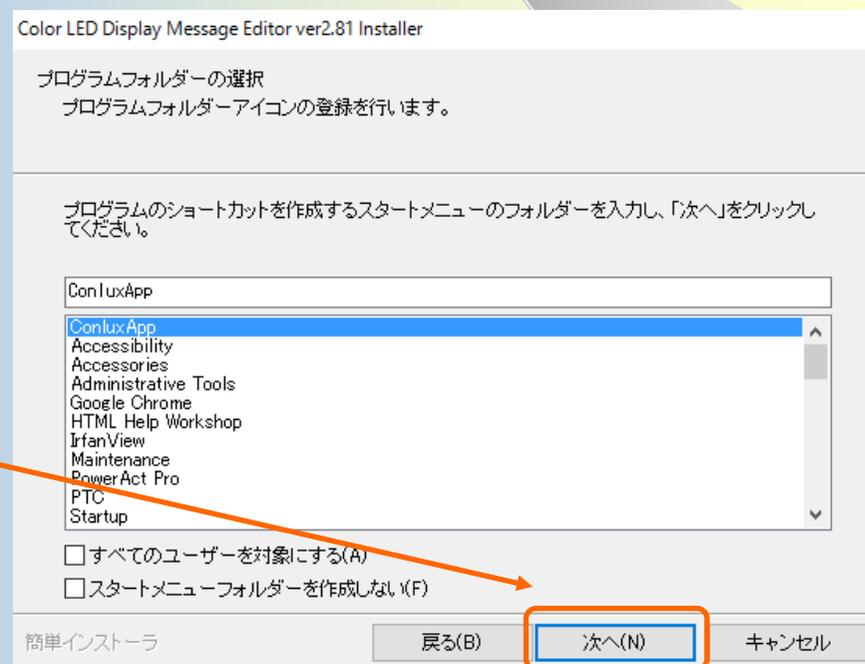
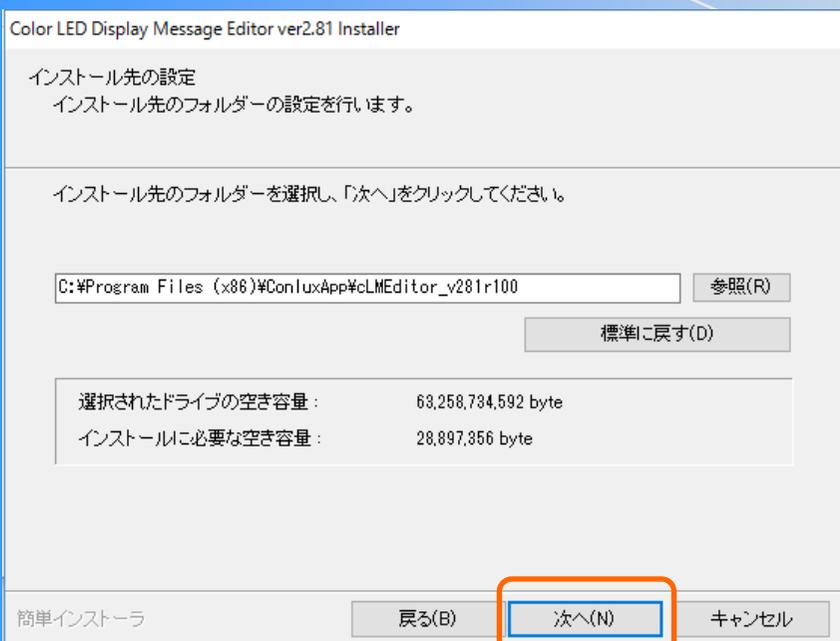


①クリックして起動します。

②次へ(N)を押します。



2. ソフトのインストール 【その2】



③ 次へ(N)を押します。

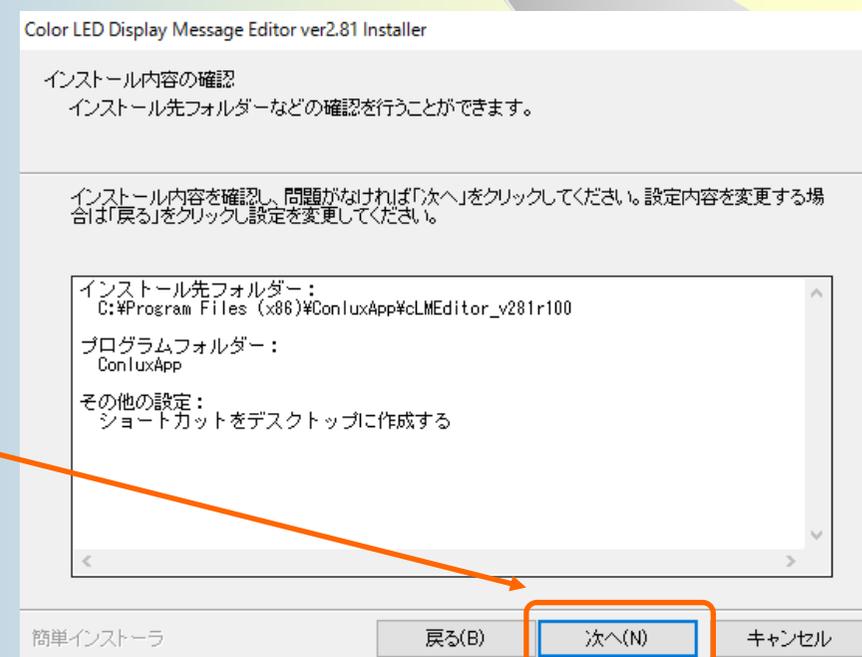
④ 次へ(N)を押します。

2. ソフトのインストール 【その3】

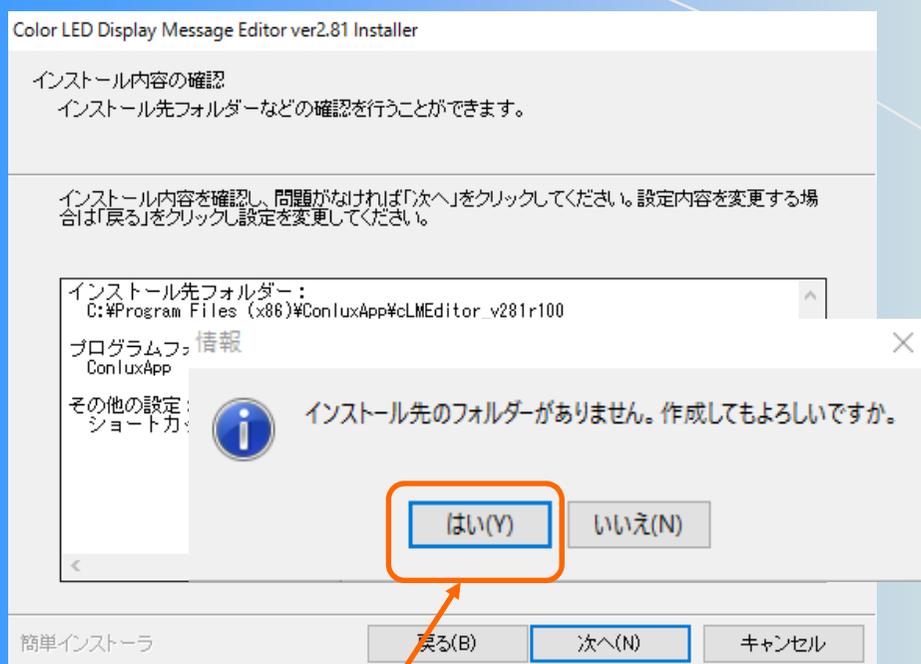


⑤ 次へ(N)を押します。

⑥ 次へ(N)を押します。

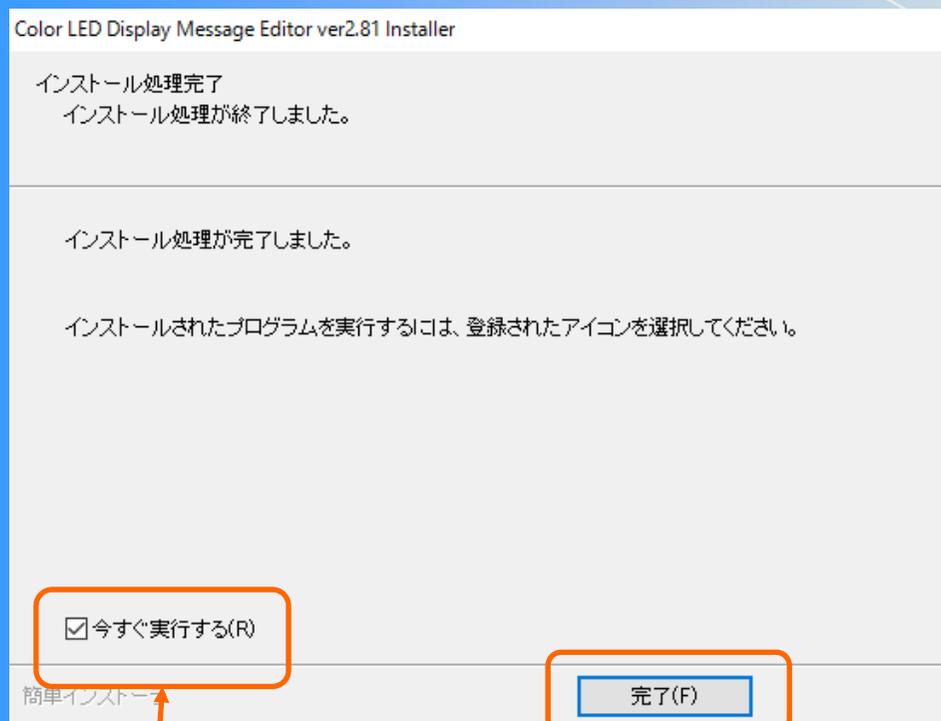


2. ソフトのインストール 【その4】

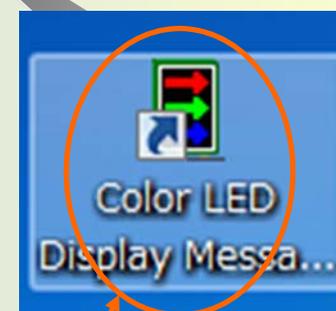


⑦ はい(Y)を押します。

2. ソフトのインストール 【その5】



パソコン画面



アイコン

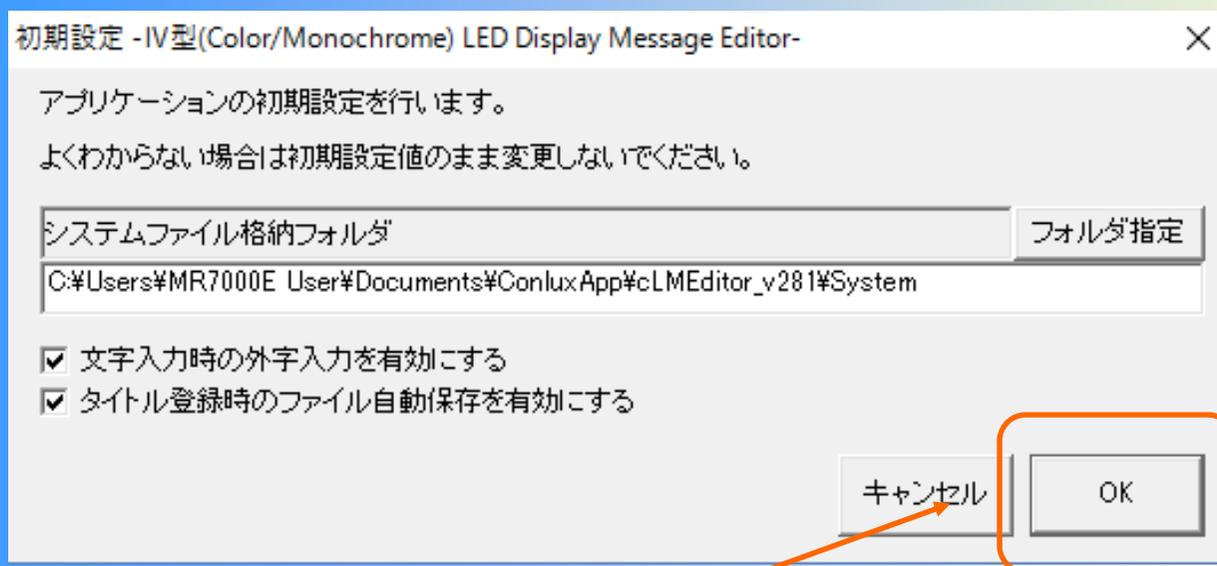
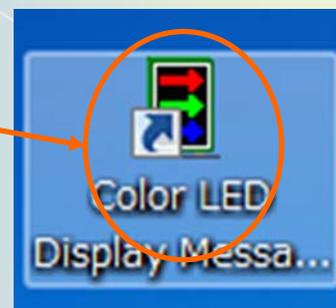
- ⑧ 完了(F)をクリックするとインストールが完了し、デスクトップに編集ソフトのアイコンが現れます。

今すぐ実行する(R)がチェックしてある場合は、編集ソフトが起動します。

3. 編集ソフトの起動 【その1】

- 『ColorLED Display Messa...』 をクリックし編集ソフトを起動します。

① アイコンをクリックします。



② OKを押します。

次回の起動時には、この操作は不要です。

3. 編集ソフトの起動 【その2】



③ OKを押します。

次回の起動時には、この操作は不要です。

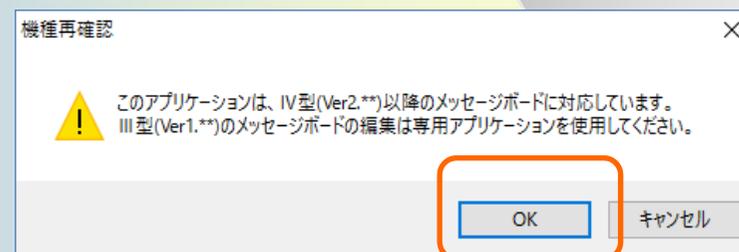
3. 編集ソフトの起動 【その3】



④ 編集する機種を選んで
チェックを入れ、OKを押します。

※左図はCMF230SH 用の編集を行う場合

なお、2台連結動作対応機種は、
2016年6月時点でCMF-230(IV)型のみです。



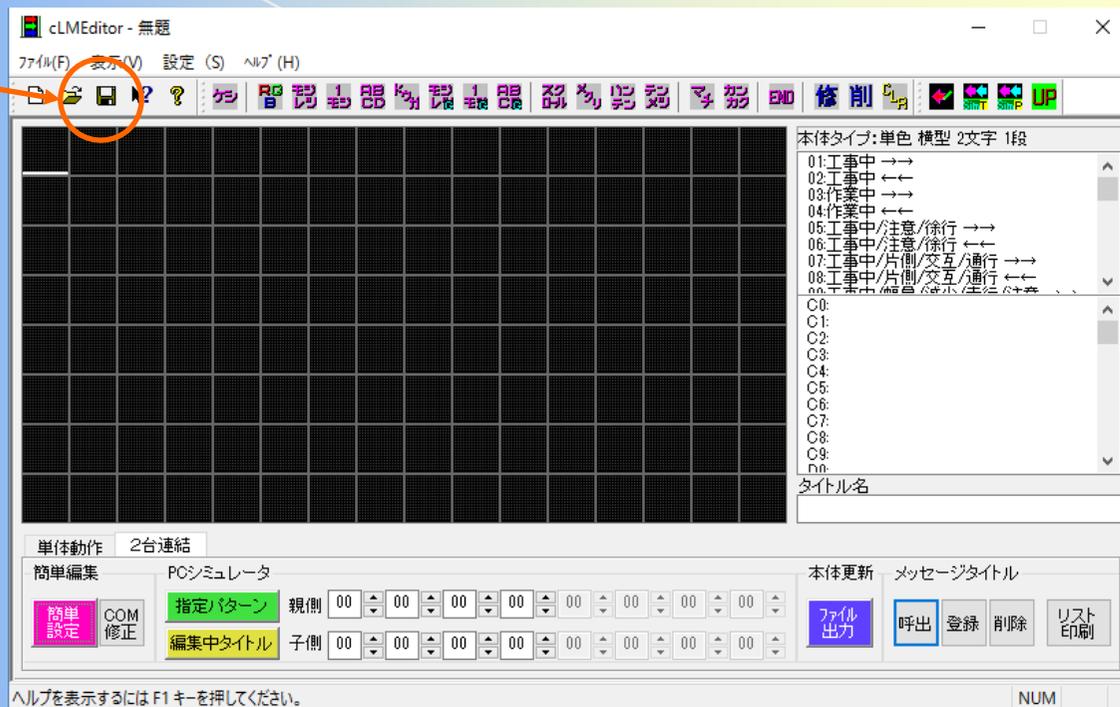
⑤ OKを押します。



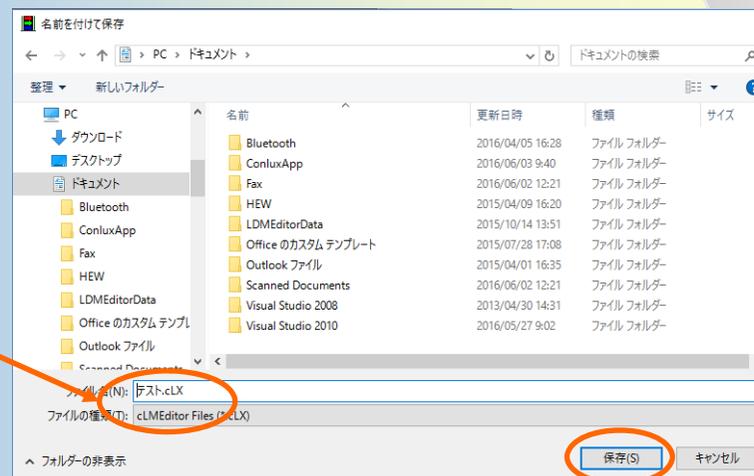
編集画面へ

4. メッセージデータファイル新規作成【その1】

① 『保存』のボタンを押し新規ファイルを作成します。

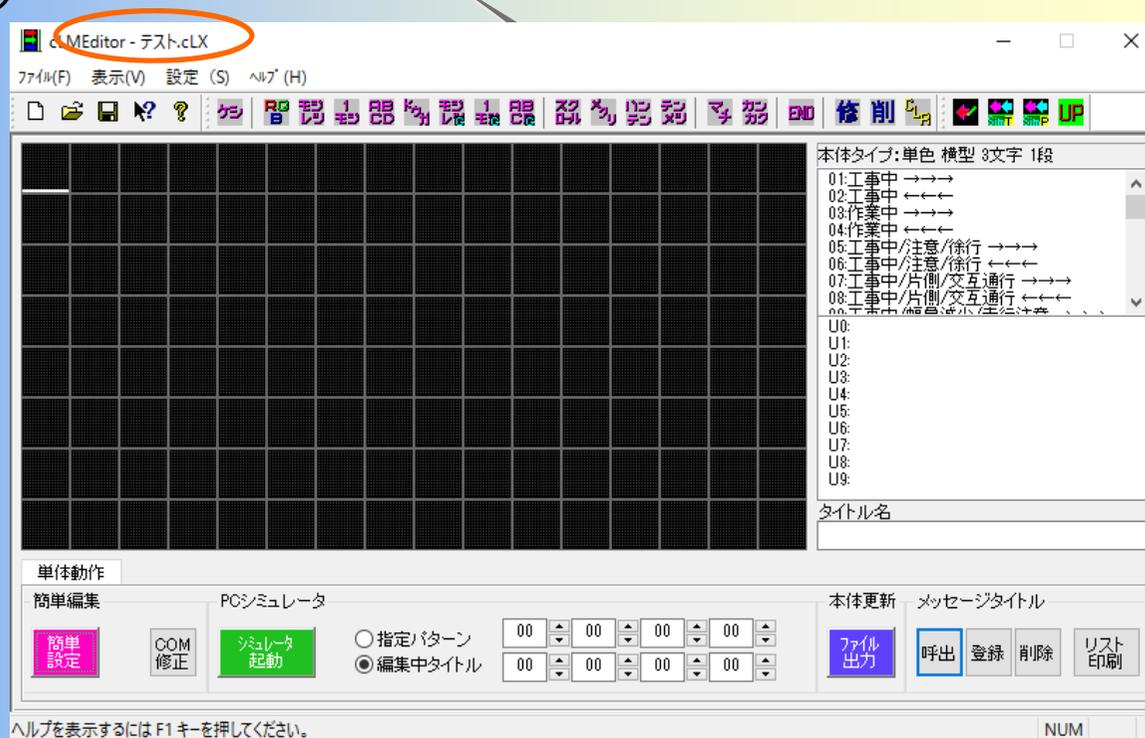


② ファイル名を入力し、保存します。
(例：ファイル名 テスト)



4. メッセージデータファイル新規作成【その2】

- ③ 『保存』すると画面右上の表示が『無題』からファイル名に変わります。
(例：ファイル名 テスト)



※ ここで作成したファイルに、編集したメッセージが保存されます。オリジナルメッセージや、既に作成済みのメッセージに追加して書き込む場合は、『メッセージファイルを開く』のボタンを押し、既存のファイルを開いてから、文字編集を行ってください。

5-1. 文字編集例1 〈簡単編集 スクロール表示〉【その1】

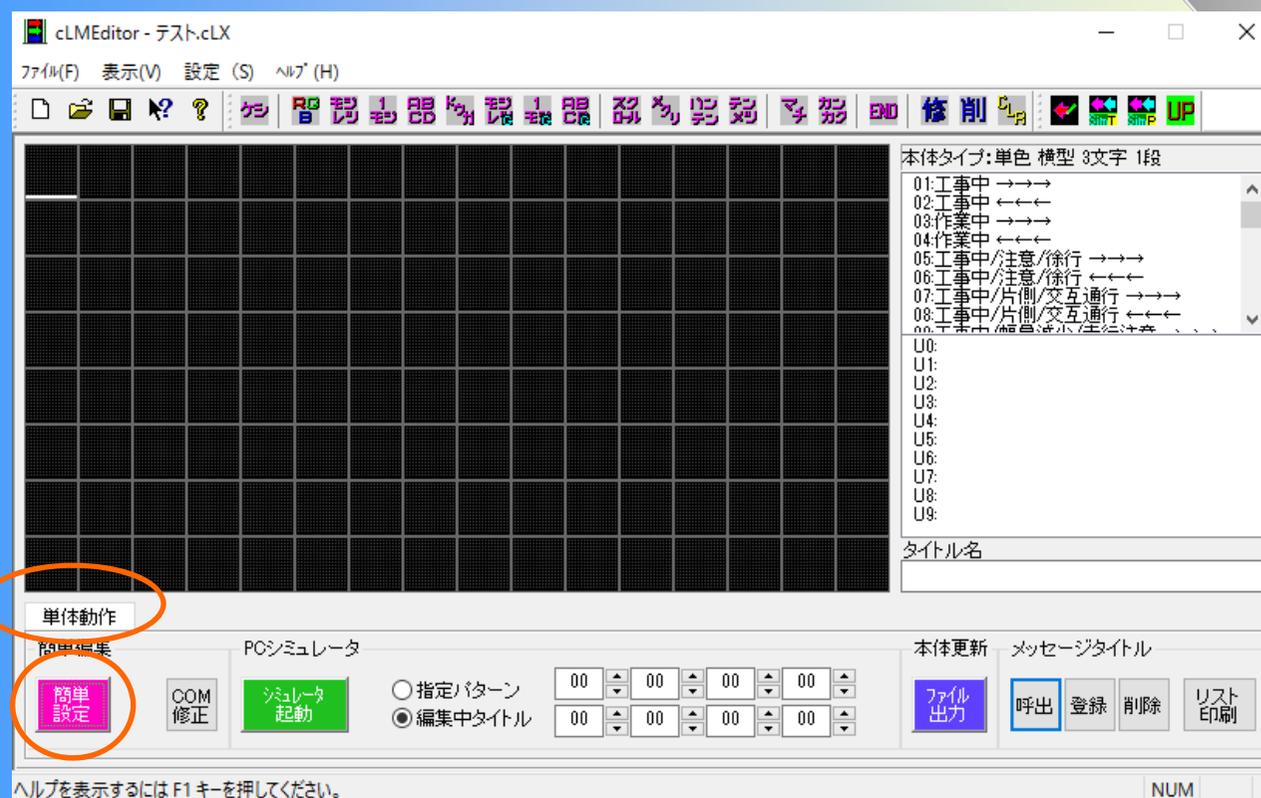
※ メッセージボード2台を連結してスクロール表示をさせたい場合は
5-2.文字編集例2 〈簡単編集 連動スクロール表示〉を参照してください。

●実際に文字を作成しよう！

例：『注意して走行してください』（スクロール）を繰り返し表示させます。

- ① 「単体動作」が選択されている状態で、『簡単設定』のボタンを押します。

(選択肢がない場合はそのままでもかまいません)



5-1. 文字編集例1 〈簡単編集 スクロール表示〉【その2】

② 文字列A(1行目)にご希望の文字を入力します。

例:注意して走行してください カラー機種の場合はここで文字色を指定できます。

表示文章 簡単設定 [文章]

開始時画面消去 文字登録領域以外消去

文字列 (有効文字数 64文字) 全角換算文字数 12 文字配置 表示色 表示方法 縦倍角 横倍角

文字列A (1行目) 注意して走行してください 12 中央 白 スクロール 適用 適用

半角は数値のみ有効

表示保持時間 1.0秒(点滅時のON時間は0.50秒)

終了時画面消去 消去しない

スクロール速度 ふいつう

タイトル登録先 ユーザー空き領域に自動登録

キャンセル OK

③ 『OK』 ボタンを押して戻ります。

④ 『はい』 ボタンを押して
[U0]にデータを登録します。

ユーザー 領域 編集データ 登録確認

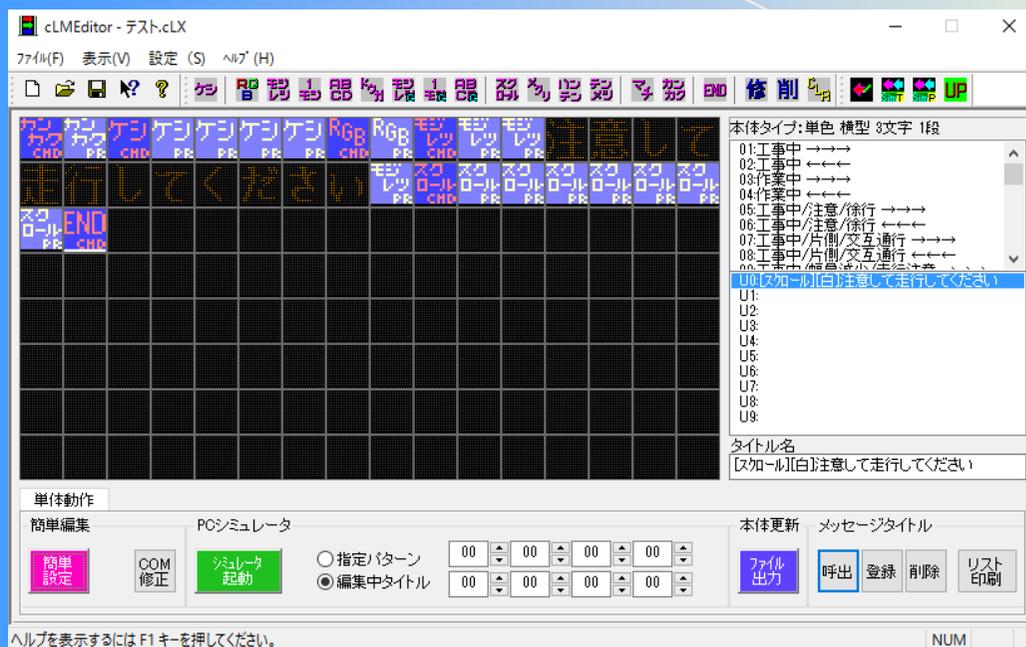
⚠ U0 番にタイトル名 "[スクロール][白]注意して走行してください" の編集中のデータを登録します。現在登録されているデータは破棄されます。よろしいですか?

はい(Y) いいえ(N)

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります (U0, C0, 130 等)

5-1. 文字編集例1 〈簡単編集 スクロール表示〉【その3】

[U0]に作成したメッセージタイトルが登録されました。



これで新規メッセージの編集が終わりました。

編集したメッセージが、
実際にどのように表示されるか
PC表示シミュレータで確認できます。

※ 他の文章も追加する場合は、5.文字編集例1の【その1】～【その3】を繰り返してください。

5-1. 文字編集例1 〈簡単編集 スクロール表示〉 【その4】



●表示確認

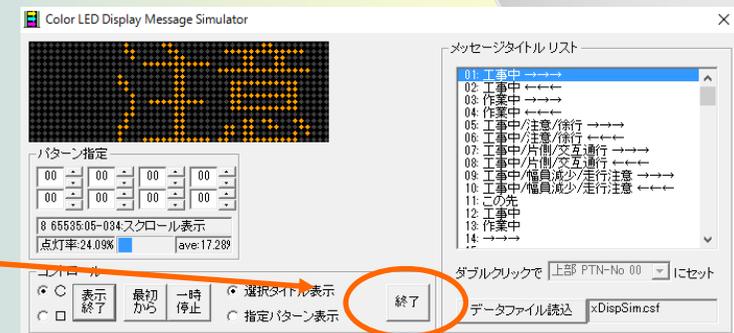
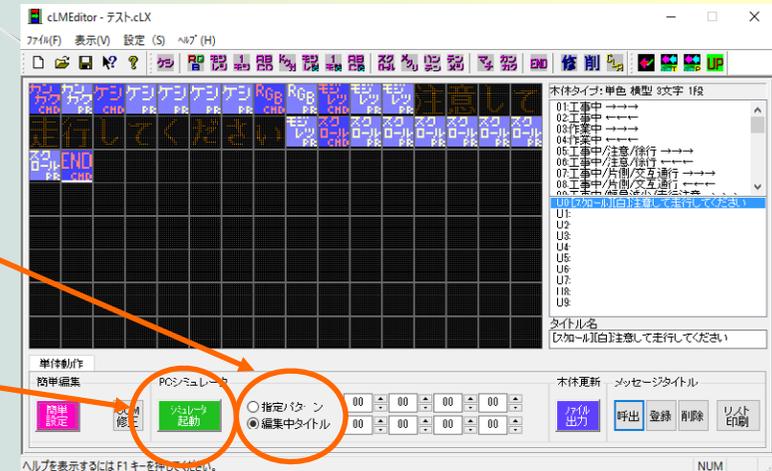
入力した文章が、実際のメッセージボードでどのように表示するか確認できます。

① PCシュミレータの『編集中タイトル』が選択されているのを確認します。

② PCシュミレータの『シュミレータ起動』ボタンを押します。

『PCシュミレータ』が起動し、
実機に書き込んだ後、動作させた場合の
表示イメージが確認できます。

③ 確認できたら『終了』を押し、
シュミレータを閉じます。



2台連結機種以外は 6へ進んでください。

5-2. 文字編集例2 〈簡単編集 連結スクロール表示〉【その1】



※ メッセージボード1台を単体で表示をさせたい場合は

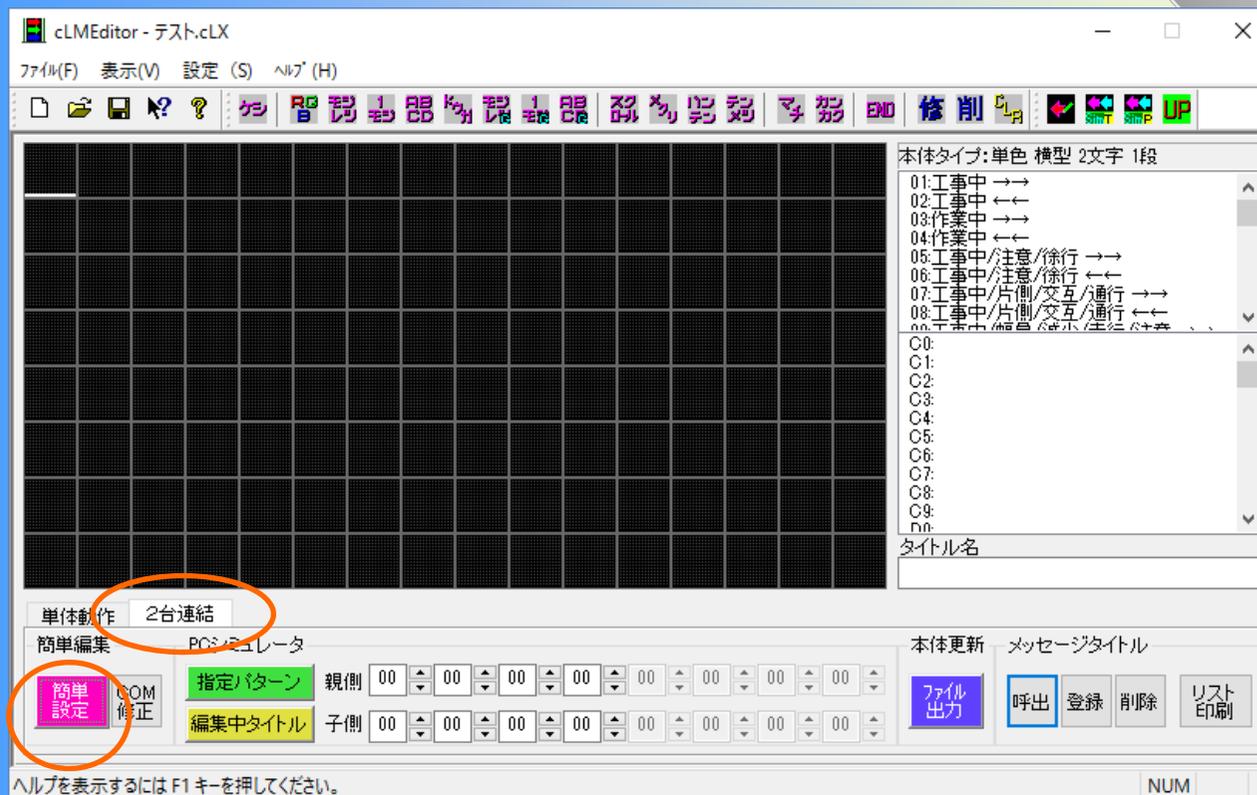
5-1.文字編集例1 〈簡単編集 スクロール表示〉を参照してください。

●実際に文字を作成しよう！

例：『注意して走行してください』（スクロール）を2台で連結して繰り返し表示させます。

- ① 「2台連結」が選択されている状態で、『簡単設定』のボタンを押します。

(親側メッセージ作成)



5-2. 文字編集例2 〈簡単編集 連結スクロール表示〉【その2】

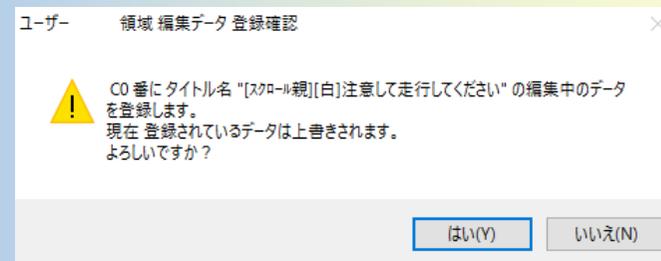


② 文字列A(1行目)にご希望の文字を入力します。

例:注意して走行してください カラー機種の場合はここで文字色を指定できます。

③ 「連結スクロール 親」を選択し、『OK』ボタンを押して戻ります。

④ 『はい』ボタンを押して
[C0]にデータを登録します。



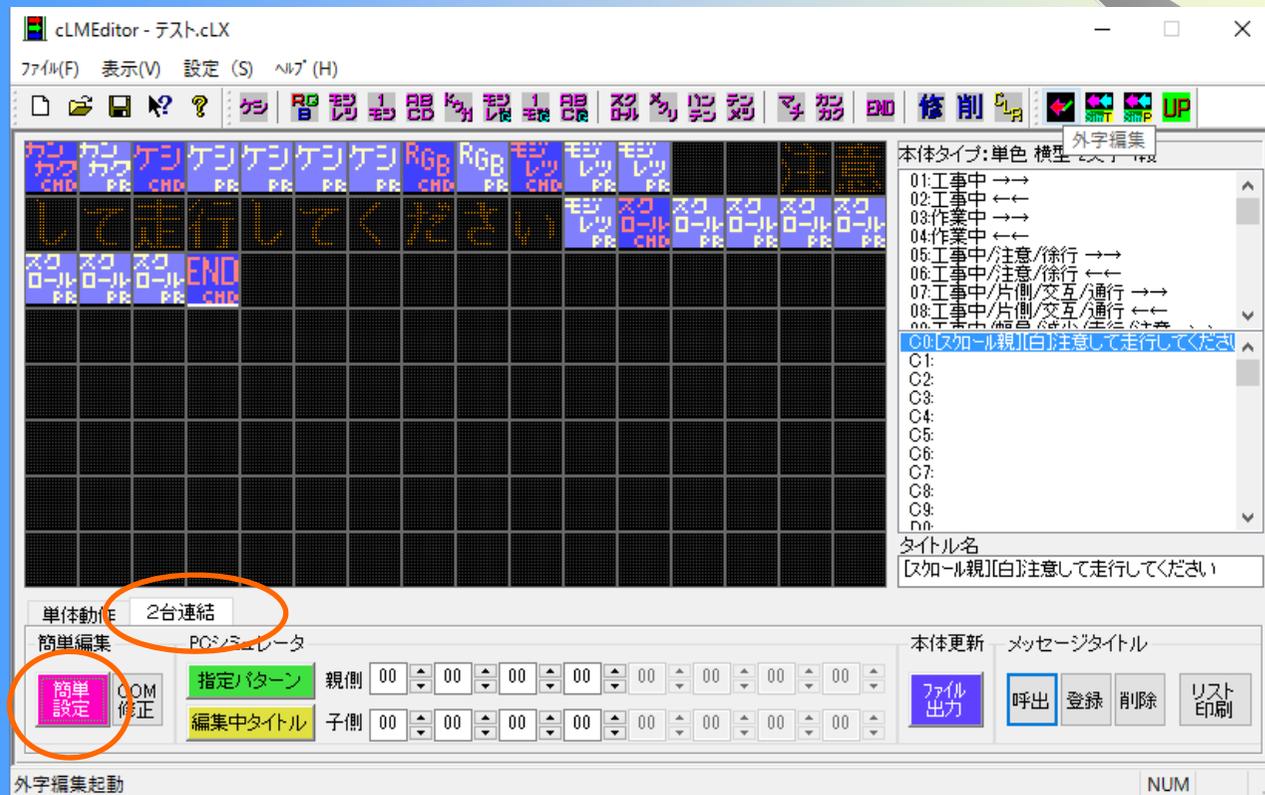
※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります (U0, C0, 130 等)

5-2. 文字編集例2 〈簡単編集 連結スクロール表示〉 【その3】



⑤ 「2台連結」が選択されている状態で、『簡単設定』のボタンを押します。

(子側メッセージ作成)



5-2. 文字編集例2 〈簡単編集 連結スクロール表示〉【その4】

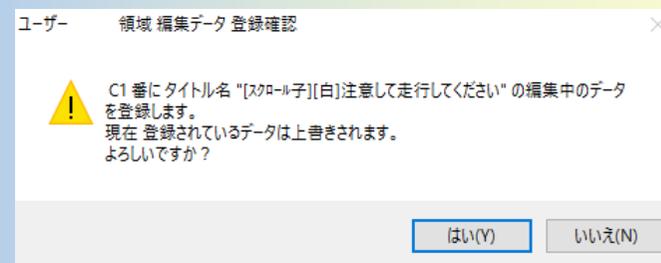


⑥ 文字列A(1行目)にご希望の文字を入力します。

例:注意して走行してください カラー機種の場合はここで文字色を指定できます。

⑦ 「連結スクロール 子」を選択し、『OK』ボタンを押して戻ります。

⑧ 『はい』ボタンを押して
[C 1]にデータを登録します。

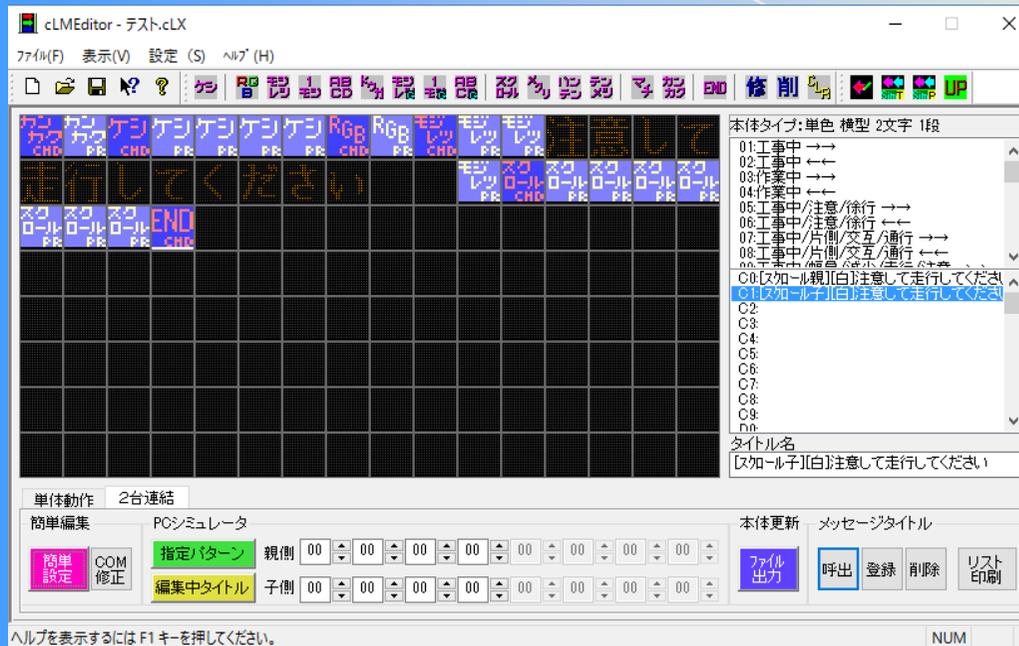


※ 機種により登録番号が違場合があります (U0, C0, 130 等)

5-2. 文字編集例2 〈簡単編集 連結スクロール表示〉【その5】



[C0]に親側、[C1]に子側のメッセージタイトルが登録されました。



これで2台で連動してスクロールする為のメッセージの編集が終わりました。

編集したメッセージが、
実際にどのように表示されるか
PC表示シミュレータで確認できます。

※ 他の文章も追加する場合は、6.文字編集例2の【その1】～【その5】を繰り返してください。

5-2. 文字編集例2 〈簡単編集 連結スクロール表示〉 【その6】

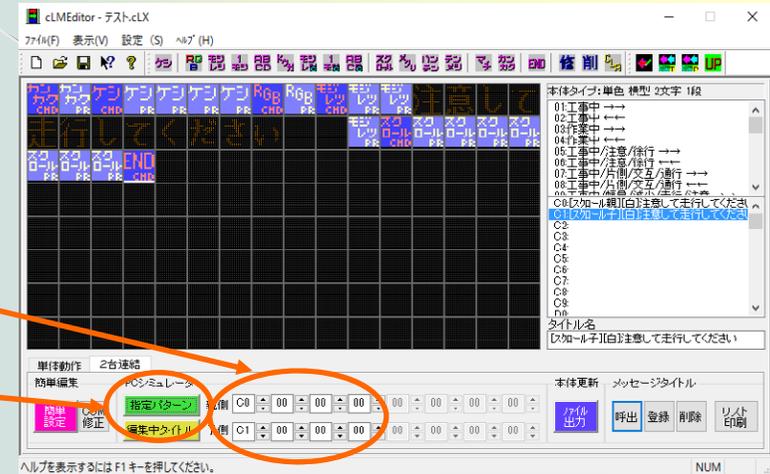


●表示確認

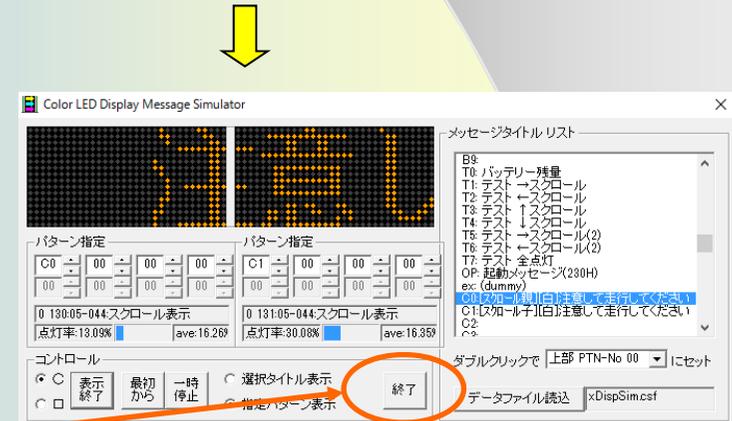
入力した文章が、実際のメッセージボードでどのように表示するか確認できます。

① PCシュミレータの設定パターンを、親側を[C0]に、子側を[C1]に指定します。

② PCシュミレータの『指定パターン』ボタンを押します。



『PCシュミレータ』が起動し、
実機に書き込んだ後、2台を連結させて
動作させた場合の表示イメージが確認できます。



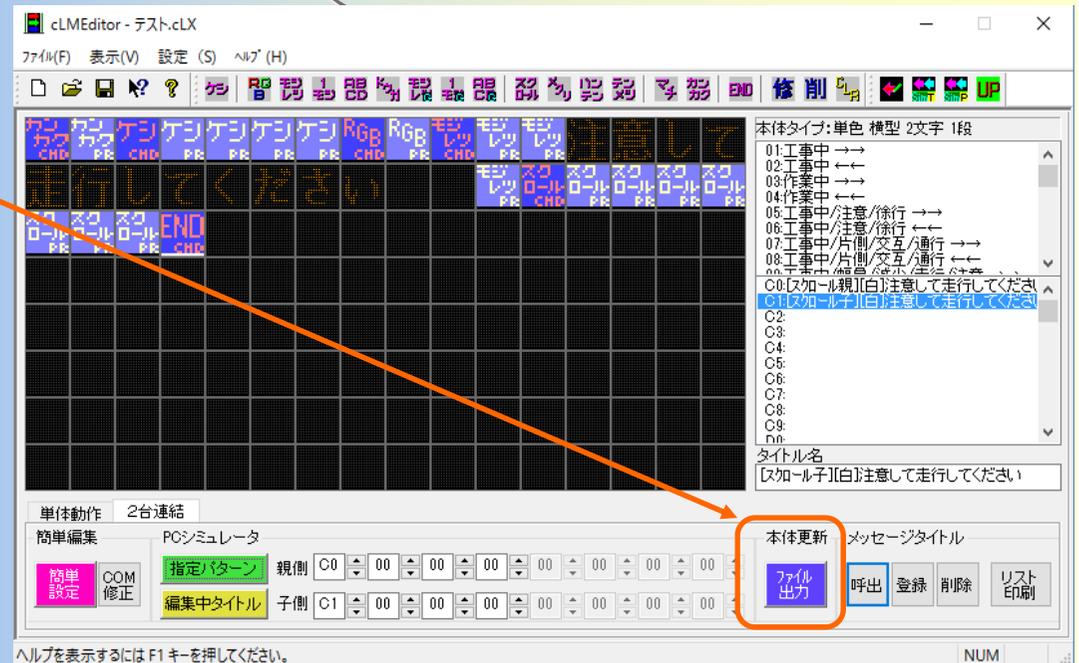
③ 確認できたら『終了』を押し、シュミレータを閉じます。

6. 更新用ファイル出力（USBメモリにデータ転送）【その1】

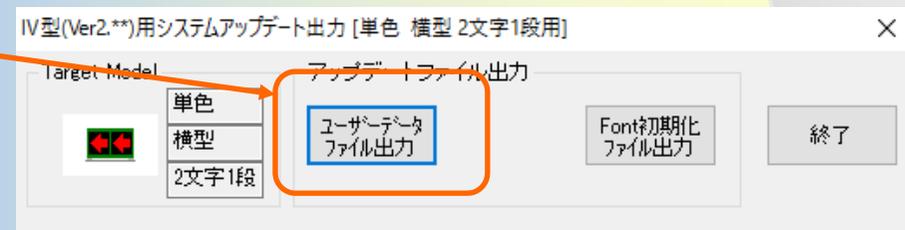


- 作成した文章のデータの更新用データファイルをUSBメモリに転送します。
データファイルを転送したUSBメモリを本機に接続して電源をいれると書き込みが出来ます。

- ① USBメモリをパソコンに接続します。
- ② 『ファイル出力』を押します。



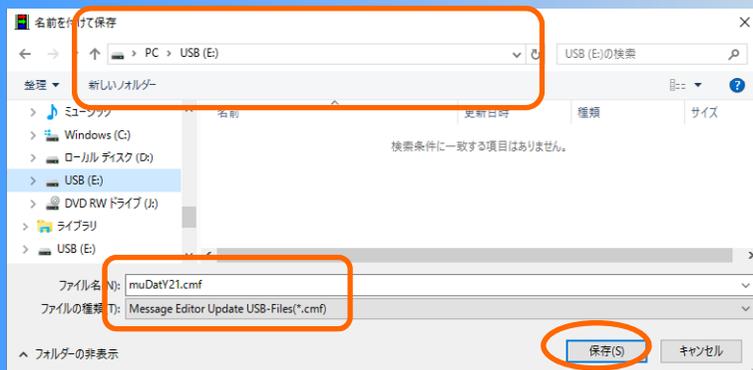
- ③ 『ユーザーデータファイル出力』を押します。



6. 更新用ファイル出力（USBメモリにデータ転送）【その2】



- ④ 『リムーバルディスク』（USBメモリの接続している場所）を選択します。



機種によりファイル名は異なります。

- ⑤ ファイル名を変えずにそのまま『保存』します。

※ 注意 保存する時は、ファイル名を絶対変えないで下さい。
本機がデータファイルを読み込む際、このファイル名を探して書き込みますので、
ファイル名を変えると書き込みが行われません。

- ⑥ 『OK』を押し、USBメモリをパソコンから外します。



7. 本機(ソーラーガードマンメッセージボード)に書き込み

●更新用データファイルが転送されたUSBメモリを使って本機に書き込みを行います。

- ① 本機(メッセージボード)の電源を切ります。
- ② 本機(メッセージボード)の背面の『USB入力コネクタ』パネルのネジ4本を外します。【パネルの位置は機種により異なります】
- ③ パネルを外した箇所にあるUSB端子に、データ転送したUSBメモリを接続します。
- ④ 本機(メッセージボード)の電源を入れます。

※ USBメモリを接続した状態で電源を投入すると自動的に書き込みが開始されます。

- ⑤ 書き込み表示を確認します。



本機LED表示部

(書き込み終了まで約3分程度かかります)

USB端子



※ 書き込み中は、メッセージボードのLED表示部の最左端1列から点滅(カラー機種は点灯)し、順次点灯する列が増えていきます。

点滅(カラー機種は点灯)が始まらない場合は、USBメモリにデータを転送し直し、①からやり直して下さい。

- ⑥ 書き込みが終了すると、本機(メッセージボード)が再起動し、転送が終了します。

※ 2台を連結して表示させるメッセージを作成した場合は、親側と子側のメッセージボードに対して、それぞれに書き込みが必要です。同じ手順で2台とも書き込んでください。



8. 本機(ソーラーガードマンメッセージボード)に表示 (単体動作時)

※ 詳細はメッセージボード本体の取扱説明書をご覧ください。

●作成した文章を本機(メッセージボード)に表示します。

- ① 本機(メッセージボード)の『カーソル移動』ボタンを押し、『10桁』『1桁』ボタンで『UO』に合わせます。



本機LED表示部

※ [U]と[O]の文字の違いに注意してください。

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります。
(UO, CO, 130等)

- ② 本機(メッセージボード)の表示確認をします。
例：[UO]『注意して走行してください』



本機LED表示部

- ③ 終了。

※ 転送したデータは、本機の電源を切っても消えません。

8. 本機(ソーラーガードマンメッセージボード)に表示 (2台連結スクロール動作時)

※ 詳細はメッセージボード本体の取扱説明書をご覧ください。

●作成した文章を本機(メッセージボード)に表示します。

- ① 本機(メッセージボード)の『カーソル移動』ボタンを押し、『10桁』『1桁』ボタンで親側を『C0』に、子側を『C1』に、それぞれ合わせます。



親側LED表示部



子側LED表示部

※ [C]と[0]の文字の違いに注意してください。

※ 機種により登録番号のつけ方が違う場合があります。
(U0, C0, 130等)

- ② 本機(メッセージボード)の表示確認をします。

例: [C0][C1]『注意して走行してください』2台連結表示



親側LED表示部



子側LED表示部

※ 2台を連結して動作させる場合の接続方法はメッセージボード本体の取扱説明書をご覧ください。

- ③ 終了。

※ 転送したデータは、本機の電源を切っても消えません。



御不明点など御座いましたらご連絡下さい

長野県安曇野市穂高5252番2

TEL 0263-81-0155

URL: <http://www.inform-ex.co.jp>

株式会社インフォメックス松本